

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成11年度～	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	03	障害者(児)福祉
事務事業名		06	在宅心身障害児(者)自立促進事業
根拠法令・例規等		備前市障害者地域活動支援センター設置条例	
問		担当課(室)	吉永総合支所 窓口管理課
合		職・氏名	課長代理・堀川郁馬
先		電話	84-2512
		このシート作成に要した時間	時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	吉永地域の心身障害者(児)
目的(何のために)	心身障害者(児)の社会参加を促進し、働くことの喜びを実感してもらい、生きがいをもち生活できる社会の構築を目指すものである。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	在宅の障害者で作業能力はあるものの対人関係、健康管理等の事由により一般企業等に雇用されることが困難な者に作業訓練及び生活訓練を行い、社会的就労の場の拡大を図るとともに社会的自立を促進する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
ゆずりは作業所運営事業	備前市障害者地域活動支援センターゆずりは運営委員会を指定管理者として運営を委託することにより、在宅の障害者で作業能力はあるものの対人関係、健康管理等の理由により一般企業等に雇用されるのが困難な者に作業訓練及び生活訓練を行い、福祉的就労の場の拡大を図るとともに社会的自立を促進する。		
目的を達成するために実施した事業			

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		3,301	3,301	3,301	
	必要人員(人件費)	千円	0.08人	775	0.06人	588
	事業費		4,076	3,889	3,386	
財源	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他()					
	一般財源		4,076	3,889	3,386	
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	9	9	8	
	対前年比	%	100.0%	100.0%	88.9%	
	活動コスト	円	4,076,296	3,890,170	3,386,290	
	単位当たりコスト		452,922	432,241	423,286	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
センター利用率	目標値(A)		12	12	12
	実績値(B)		9	9	8
	達成率(B/A)		75.00%	75.00%	66.67%
成果指標設定の考え方・式や説明					
センター通所者数/定員(12名)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

留意の目的が有る効性の値評価を行って成果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	事業内容については、例年と同様である。なお、通所者が減少しているため通所者の増加を図らなければならない。					

総合評価		評価区分 <A-E>	
吉永地域唯一の地域生活支援事業の地域活動支援センターとして、通所者及びその家族などにとってはなくてはならない施設である。ノーマライゼーションの観点からも現運営委員会が管理運営に名乗りをあげてくる限り、例え現状維持のままでも開所していかなければならないと考える。運営的には、作業所発足の原点に立ち戻り、通所しやすい作業所づくりに努めなければならないと考える。		C	

平成23年度の方針及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	通所者の増加を図る努力をする。					